

カリキュラム

(D)情報発信	SNSを活用した情報発信
インターネット活用	

コースのねらい	広報に用いるSNS(ソーシャル・ネットワーク・サービス)の利用方法と、ネット炎上が企業及び従業員に与える損害や被害に関する事例を通してSNSに潜む危険性を理解し、SNSの正しい活用方法と情報発信方法を習得する。
---------	---

	「基本項目」	「主な内容」(例)	訓練時間(H)
講義内容	1 SNSの活用	(1) SNSの特徴と仕組み ・facebook、instaram、twitter、tiktok、youtubeなどの各ツールの違いなど説明 ・受講者のSNS活用レベルのヒアリングと各レベルに応じた説明 (2) SNSの活用事例の紹介 【演習1】 ・受講者の中から初級、中級、上級の各レベルの利用者をピックアップし、アカウントの良い点、改善点などの意見集約を行う。 ・講師アカウント紹介、運用サポートしているアカウント紹介 (3) アカウントの登録 【演習2】 ・instagramをメインに、参加者全員が受講日にアカウント開設具体的には2名一組でペアを作り、実際にアカウント開設を順を追って行います。	3.0
	2 情報発信	(1) 写真・動画の投稿 写真や動画の投稿方法と、どのような投稿がユーザーに好まれるかについて紹介。また、投稿したものの評価・結果(インサイト)の確認方法についても実例を交えて紹介します。 (2) ハッシュタグの利用 【演習3】 ・ハッシュタグによる情報の検索方法 ・業種や職種、受講者の環境に応じたハッシュタグ戦略について (3) 投稿のアーカイブ 投稿のアーカイブ方法やどのような投稿をアーカイブすべきかについて受講者に紹介します。	2.0
	3 SNSの危険性	(1) ネット炎上と企業が受けるダメージ SNSによる炎上事例をご紹介します。実際に大分県内で起きた事例について、身近な事例として共有します。 (2) SNSによる情報漏えい、風評被害 初歩的な危険性について、最低でも守るべき5つのことについて、事例を交えながらご紹介します。 (3) SNS利用の制限 SNSでお知らせすべき内容とSNSには向かない内容の精査方法、考え方、利用制限の基準作りを行います。 (4) SNS利用者の自覚と責任 一過性のSNSではありますが、インターネットに公開されることで長い期間にわたって情報がストックされることの認識を深め、利用者としての品格を持つことの重要性についてお知らせします。	1.0
合計時間			6.0

カリキュラム作成のポイント
事例の紹介を多く活用しながら、受講後すぐにもSNSを活用したくなる講座を作成します。また、講師による一方的な講義スタイルではなく、双方向でのインタラクティブな講義スタイルを構築します。加えて、参加者同士のコミュニケーションが最大化する仕掛けも織り交ぜながら、受講後に受講者同士のコミュニティができるような導線も作ります。

訓練に使用する機器等	
●機器・ソフトウェア(受講者用)	●機器・ソフトウェア(講師用・その他)
スマートフォン、LINEアプリ、Gmailパスワード お持ちの方は各SNSIDとパスワード	PC【講師持参】、スマートフォン【講師持参】、スクリーン、プロジェクタ
●使用するテキスト	●その他
自作テキスト	SNSアカウント取得のためGmai取得必須。パスワードの再確認も必ず。

利用事業主に用意を求める機器等	備考
スクリーン、プロジェクタ、マイク	コミュニケーションを最大化するために会場テーブル配置について、別途ご相談をさせていただきます。